



TITLE:

露國天文學者の救済

AUTHOR(S):

CITATION:

露國天文學者の救済. 天界 1923, 3(28): 124-124

ISSUE DATE:

1923-03-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159851>

RIGHT:

露國天文學者の救済

露國天文學者救済委員會により發送せられた下の手紙は今日迄に爲し來られし事柄に對する記事を供すると共に尙ほ援助の必要の存在する事を示めてゐる。

1923年1月25日

ウイスコンシン州、ウイリアムズ灣

シカゴ大學、ヤーキース天文臺發

拜啓 露國に於ける我等同僚の救済の爲めに1922年中に此の委員會の手を以つて米國天文學者の取つた方法は成功したと認めて宜敷かるべく候。

最近に至る迄委員會へは 2039.85 弗の送金有之候 支出は 1937.18 弗に候ひき。差引45弗は寄附者により特に指示された爲め個人への部分けとして送る爲めに保留され候 之は援助に應ずる爲めに用ふるを得る 57.67 弗の差額の殘存せるを示めし候。

180 箇の食糧入の袋の中から唯二箇丈(是等に對し受取らるべき答の爲めに時間(はあつたが)は A.R.A から受取書換言せば受領者からの禮狀を受取らず候ひき。我等は之れをアメリカ救済施政 (A.R.A) の能率に對する一顯著なる貢獻であると認むる者に候。

八月に約十五箇の學會の各個人に對しては正規の毎月の分與を仕り候 新しい收穫に鑑みれば毎月の食糧包を繼續するの必要に關し直接報告を待つ方が賢明なるべく存ぜられ候 食糧の狀態は或る地方では非常に良好に有之候 プルコワに於ける我が同僚の一人の言によれば彼は非常に前より強壯となつた爲め彼の上衣のボタンなつけかへねばならなくなつたとの事に候 クリミヤに於ては狀態は今や最惡に有之候 我等は正貨20弗を近來捕縛され流刑に處せられたストラトノフ氏に、同額なチュニスのピセルタに於ける一避難者たりしウイソツトスキー氏に送附仕り候 是等流刑者は特別の同情と援助を蒙るべき人々に有之候 基金の或部分は委員會に適當と見受けられる食物以外の露國救済の爲めに如何なる形式に於ても使用し得るその了解の下に我等の手に委ねられ來り候 かくて我等は獨逸からプルコワ天文臺へ教授マクス・ウオルフ (Max Wolf) の親切な助力によつて約35打の寫眞板の供給を受ける爲めに20弗を送金仕り候 又我等は大まかな割引で大戰中及後の年の書物挿を完成する爲めに Astronomical Journal, Popular Astronomy, 及び Astrophysical Journal の諸巻をプルコワの及びモスコウ大學の天文臺圖書館用に購求致し候。

Ceraski 家に遂に到達仕り候。而して彼等は凡て我等の食糧袋を受取り候 我等は又彼等に基本 A.R.A 20 弗布袋を送り申し候 シモン、ニューカムの子は此の冬の残りなしの爲めに Ceraskis の爲め今や私に準備致し居り候。

我等の暗示によりウオシントンのカーネギー學會は我等の名簿にある露國の十二天文臺及び大學へ其の天文學的出版物の一組を非常に大まかに寄贈せられ候 之れは露國人により充分尊重せらるべき贈物に有之候彼等は往々食物からよりも科學的文學の贈物からより多く道德的援助を感ずるささえ申し居り候。

此の事情の下に、我等は少くとも尙 800 弗を準備して露國の最惡の狀態の部分に於ける困難の事柄を庇護し又乗り上げた流刑者の爲めに使用致し度く候 此故に我等の何ひ度きは貴天文臺の僚員が昨年我等に送附せられた同様な二箇月毎の寄附を一若しこれが寄附者に都合よくば爲し下さらずや?との事に有之候 御送附の食糧袋は來る二週間中に殆ど冬の末頃我露國同僚に到着し始むべく候其頃は丁度食物の供給は僅少なべく候。

露國から受けた讃評の表示は非常に町重にして殆ど當惑せしめる程に有之候 此の理由の爲めに殆ど記し得ざる次第に有之候。

従前の如く小切手は此委員會の委員長を指圖に作成せらるべく候。

終りに此の計畫に對し貴下の懇るなる共同を多謝仕り候。 敬白

露國天文學者救済委員會

委員長 エドウィンB. フロスト

G. パン ビースブルック

オットー ストルーフエ